

特別の教育課程「人間と社会」の編成の方針

松阪市立飯高中学校

1. 「人間と社会」の取り組み

連携型中高一貫教育における連携高校である三重県立飯南高等学校総合学科の原則履修科目「産業社会と人間」に接続する教科として、平成13年度より「人間と社会」を設定し、特に必要な教科として以下のような時間で実施している。これによって、小・中・高の12年間におけるキャリア教育の連携・コミュニケーション力を培う教育の連携をめざしている。

統合年度に新たに作成した各学年の年間指導計画を、教員研修において全職員で「人間と社会」の内容や取り組みについて共通理解をはかり、キャリア教育の中心として取り組んでいる。

また、ICT機器を活用した教育活動については、「人間と社会」の授業や活動の中でも、ICT機器を使って調べ学習やまとめて発表する活動を多く取り入れ、「身につけさせたい資質・能力の育成」と「コミュニケーション能力の向上」を目標にして授業づくりをめざしてきた。

◎年間の実施時間

- ・第1学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
- ・第2学年は、「総合的な学習の時間」を40時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
- ・第3学年は、「総合的な学習の時間」を35時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。

2. 各学年の目標と内容

<第一学年>

- ① 自分についての自己理解を深める。
- ② 身近な地域の人々の職場を調べることにより、仕事内容や生活の様子を知る。また、身近な地域の産業の成り立ちについて考える。
- ③ 身近な人の聞き取りや職業を調べることで働くことに関心を持つ。

<第二学年>

- ① 自分の興味や関心・職業に対する自身の傾向を知る。
- ② 職場体験をすることにより、働くことの意義や自己の可能性を知る。
- ③ 上級学校について調べ、進路選択の方法などに関心を持つ。

<第三学年>

- ① 将来の自分について展望をもち、目的意識を持つ大切さを理解する。
- ② 各高校の生活入門講座や進路説明会に参加して進路に関する情報を持ち、自己選択の力をつける。

学年	学 習 内 容
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の特徴をいろいろな観点や方法からとらえ，自己理解を深める。 ・ 身近な人の職業を調べることや職業調べにより，職業生活の内容や特徴を知り，職業や働くことへの関心を深める。 ・ 飯南高校からの出前いいなんゼミ講座や生徒交流会への参加により，飯南高校総合学科について知る。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の社会人講師や職場体験学習を通して，地域の人々の願いに触れ，将来の生き方について考える。 ・ 自己を見つめ，自分の性格の特徴をつかむことにより，自分に適した職業への関心を高めさせる。 ・ 職場体験学習を通して，身近な産業について理解し，働くことの意義を考える。 ・ 飯南高校の生徒交流会や「いいなんゼミ」に参加することで，飯南高校総合学科の学習内容や高校生活を理解し，関心を持つ。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯南高校総合学科の4系列の学習体験を通して，進路選択のガイダンスとする。 ・ 自分の特徴や興味・関心と，希望の職業との関連を考える。 ・ 自己のライフコースを組むことで，目的意識を持つ大切さを理解し，将来の生活について展望を持つ。 ・ 働く人の実際の生き方にふれ，働くことの意義，職業人の心構えを学習し，自分の能力や適性を生かす，進路設計の大切さを学ぶ。